

タイ食品業界の動向と 市場展開の実践事例

2024年
10月11日(金)
14:00-15:30
オンライン開催 (Zoom)

参加無料

「タイの現地事情、消費財市場に関する最近の動向」

タイ政府は2024年通年のGDP成長率を+2.3%~+2.8%と見込んでいます。製造業の成長率がマイナス圏からプラス圏に浮上し、建設業のマイナス幅縮小を見込む一方、観光業の回復が継続し、民間消費は年間で+4.5%と順調に伸びると言われています。一方、タイの消費者物価指数はコアインフレ率が8月度前年同月比 +0.44%で、一時期の物価高騰という状況ではありません。家計債務が高水準にあり、消費が低迷しているという指摘もあります。そのようなタイの現在の状況、消費財市場の動向をお伝えします。



金澤 厚
ひょうご国際ビジネス
サポートデスク バンコク

太田昭和監査法人、有限責任監査法人トーマツを経て、2012年1月よりタイにて、上場日系企業の現地子会社、中堅中小企業への会計税務の支援、会社設立、組織再編、BOI投資奨励申請支援、商務省へのビジネスライセンスの申請支援等の業務に従事。

「タイの市場及びアジアの日本酒商品の販売状況について」

タイをはじめアジア市場において、当社では、コロナ禍などもあり、EC販売（越境EC含む）を強化してきました。しかし、コロナ禍が終息したことにより市場環境が大きく変化し、スーパーマーケットやレストランといったリアルな店舗へのアプローチが再び重要となっています。このような市場の動向や最近のトレンドを踏まえた当社の取組みをご紹介します。



淡吉 泰一
白鶴酒造株式会社
海外事業部 課長

2002年入社。7年日本の国内営業をした後、2009年より海外事業部に赴任。2013年からアメリカ・ロサンゼルスにあるHakutsuru sake of Americaに駐在。現在はアジア、オセアニアチームリーダーとして、アジア市場を担当。

「タイ食品製造業への食品添加物製剤販売事例紹介」

タイの食品添加物事情について、25年にわたり、タイ向けに食品添加物製剤の輸出を行っている当社の取組みの変遷とともにご紹介します。また、取引先開拓に役立つリソースについてもご紹介します。



魚谷 文作
甲陽化学工業株式会社
執行役員

カリフォルニア大学デービス校食品科学修士。米国醸造機器メーカーで、黎明期にあった日本のクラフトビールプラント立ち上げと技術指導にあたる。日本の化学品専門商社に転職後、食品添加物・機能性食品の国内外営業で20年近くのキャリアを積んだ後、2024年春から現職。海外営業統括として、アジア圏における既存商権の更なる伸長と欧米向け新規市場開拓に鋭意取り組み中。

申込
方法

ホームページよりお申込み下さい
【URL】https://www.hyogo-kaigai.jp/seminar_20241011_thai
お申込みいただいた方に、開催前日までにメールでURLをご案内します

締切：10/8(火)



詳細・お問い合わせ

ひょうご海外ビジネスセンター
TEL：078-271-8402 HP <https://www.hyogo-kaigai.jp/>

ご記入いただいた情報は、当セミナー運営・管理のために利用するとともに、ひょうご国際ビジネススクエア（ひょうご海外ビジネスセンター、神戸市海外ビジネスセンター、ジェトロ神戸）、及び講師で共有し、適切に取り扱います。セミナーに関する連絡及び必要な事務手続き、御意見や御感想の回答のお願い、メールマガジンでの情報提供等に利用させていただきます。

主催：ひょうご・神戸国際ビジネススクエア